

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等  
 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙3の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください

技術の概要・実績等	技術の分野
<p>静岡市を中心として、鉄道・路線バス・タクシー、スーパーマーケット、ショッピングセンター等を運営する静鉄グループは、それらの利用による「移動と消費」の情報がICカードLuLuCa(2006年発行開始)に格納される仕組みを保有している(稼働会員52万人)。2013年度には、鉄道・路線バス乗車の際にポイント提供サービスを開始し、2016年度にはいわゆる電子マネーとしての役目も果たすべく、ストアードフェアをスーパーマーケットやショッピングセンターでも活用できるように機能開放しており、交商連携を実現したマーケティングツールとなっている。その特長を活用し、直近では静鉄グループ経営のショッピングセンターの開業後初となるリニューアルと来館者への「公共交通利用に応じた特別インセンティブ提供」を組み合わせた実証実験を行うなど、どのような方々に、どのようなサービスを提供すれば、生活者の満足を得られるのかという研究も多数実践している。その基盤となっているものが、2008年度以来継続しているLuLuCaモニター制度である。同モニターは、静鉄グループのサービス改善にヒントを提供する顧客群ではあるが、本制度によれば交通経路特定や消費行動などの実行履歴と利用意向などアンケート調査データの取得により、実質的に行政が実施しているパーソントリップ調査を補完するに十分なデータを収集することができ、より市民の生活実態を説明するのに相応しいものと考えられる。人口動態の変化により、あらゆる面で市民のライフスタイルの変化への対応が必要とされるなか、たとえば運転士不足で路線バスのサービス水準維持に影響が生じている一方、Door to Doorなどより丁寧に実態に即したサービスの提供が求められている背景もある。こうした社会的ジレンマを解消する一案として、(株)未来シェアの相乗り/乗合タクシーの仕組みとの組み合わせを検討している。また、LuLuCa会員の交通行動履歴(消費額含む)は個人情報に相当するため十分に配慮し、スマート・プランニングによるスマートシティの検討に活かすべく、適切なオープンデータ化なども検討していくことで住民のQOL向上へ大きく貢献できるものとする。</p>	<p>(2) (3) (4) (7)</p>

(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ  
 ※課題については、別紙3の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください

解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>公共交通のサービスレベル維持が困難になっている現在の状況に対して、MaaS等の新たな交通サービスを提供することによって、居住者の移動をスムーズにでき、日常の買い物のみならず、通院や文化交流等の心理的・時間的・金銭的負担を軽減できるものと考えられ、市街地活性という点でも期待が持てる。また、高齢者交通事故対策、運転免許返納者ら交通弱者の移動権の確保という点においても貢献できるものとする。さらに、交通事業者においては慢性的な労働力不足に悩まされており、MaaSの一部となるであろう「オンデマンド型乗合サービス」を既存の路線バスや電車等と組み合わせることで、より効率的かつ十分な運行/運転士/車両ダイヤを形成することができる。MaaSのマネジメント(マーケティング運営)に必要な不可欠となるのが経路・決済データであり、既に静鉄グループのLuLuCaはその機能を一部有しており、多くのノウハウを有している。</p> <p>一方、さらに予約・決済データを課題解決に活用していくことが重要であると考え、LuLuCa(全会員記名式ICカード)をデータフォーマットとして想定しているが、地域全体への貢献という観点から、経路情報提供、新たな決済手段等と組み合わせることで、いわゆるMaaSアプリの要件を満たす。新たな決済システムとの連動は、たとえば事前決済の仕組みやサブスクリプション等の仕組みを導入することで、貨客混載サービスなど様々なサービス連携も期待できる。</p> <p>こうしたことから、本提案は単に移動のシームレス化による交通サービスの利便性向上のみならず、AIなどによるデータ活用を前提とした新たなまちづくり(例:スーパーシティ)、地域経済の発展、さらには労働力不足の解消(生産性向上)等が見込まれるなど、多方面での地域課題を解決しうるものである。</p>	<p>(ア) (ウ) (カ) (コ) (サ)</p>

(3) その他

・生産年齢人口減少による通勤通学依存モデルからの脱却を目指し、LuLuCaシステムの改良とともに、地域活性化に貢献できるようなビジョンを立て、静岡市内にて総合型公共交通サービス(MaaS)の提供に向けて、静鉄グループと地域企業、さらに(株)未来シェア、(一財)計量計画研究所等との連携により、実証実験を検討中。

※例: 2019年2月頃 居住者向け相乗りタクシー実証実験の展開(静岡市葵区・駿河区、JR東静岡駅を中心に南北5Km圏内の都市部)

2019年2月頃 清水港寄港のクルーズ船による来訪者(インバウンド)への相乗りタクシー実証実験の展開

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
静岡鉄道株式会社	岩本武範	054-254-7026	<a href="mailto:tiwamoto@shizutetsu.co.jp">tiwamoto@shizutetsu.co.jp</a>